

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
薩摩川内市	倉野地区	令和2年12月17日	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	69.8ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	42.7ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	8.6ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.1ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	6.7ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

(1) 農家の高齢化 (2) 有害鳥獣(イノシシ・シカ)の被害が多く、出没範囲も広がってきている。 (3) 農地中間管理事業の交付金単価の見直しにより、農地の貸借が難しくなっている。 (4) 耕作条件の悪い周辺部の作り手がいない。
--

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

倉野地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者7経営体や認定新規就農者1経営体が担う。
--

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の集約化を図るため、農地所有者は原則として、農地を中間管理機構に貸付けていく。
市等の事業を活用し、有害鳥獣被害防止策を講じるとともに、捕獲により個体数を減らす。